



広報

座光寺

2019
6
No.49

座光寺風景

一生懸命解説をする 子ども桜ガイドの皆さん

快晴の空に満開の桜の下、桜ガイドの子ども達は、観光客へのPRはもちろん、ガイドの経験を通じて座光寺を愛する気持ちを深くします。

松尾から来たという親子連れは、「座光寺の桜と、桜ガイドがすごいとの口コミを聞いて来た。子ども達から舞台校舎の解説を聞き、こんなにすばらしいものが市内にあるとは知らなかった。」と驚いた様子でした。

桜ガイドをした、六年生の太

五年前からほとんど毎年来ているという、三重県伊勢市の七十代のご夫婦は、「ガイドもせず石段で遊んでいた子が、もう立派な五年生になった。自分の孫のように成長が楽しみだ、来年もきつと来たい。」と笑顔で語っていました。

子ども達の活躍は、マスクミなどにも取り上げられすつかり有名で、ガイドに会う事を楽しみに訪れる方も多くいらっしやいます。

四月六日と七日、座光寺桜まつりが開催され、本年も子ども桜ガイドの皆さんが大活躍しました。

子ども桜ガイドの子ども達は年々その人数を増やし、本年は小学生四十二人、中学生八人の合計五十人が、ガイドとして活躍しました。



大活躍の桜ガイドの子ども達

麻績の里 桜まつり開催

田愛菜さんは、「大勢のお客様に喜んでいただけましたし、地域のPRもできました。皆さんの役に立つ事ができて嬉しかったです。また、桜ガイドの学習をする中で、地域の事をたくさん知ることができ、座光寺の事がとても好きになりました。」と元気に感想を聞かせてくれました。

お客様へのおもてなしはもちろん、座光寺の子ども達が、桜ガイドの経験を通じて、誰かの役に立っているという体験をし、地域を愛する心を育んで成長していく姿に、座光寺の明るい未来を感じる事ができました。

(広報篠田)



今年度の重点目標と活動方針について

新時代に向けて

自治会長 福田 富廣



座光寺が大きく変わろうとしている中、再度自治会長としての役目を果たすことになりました。住民の皆さんのご支援ご協力をいただきながら元氣のある「麻績の里 座光寺」のまちづくりに進進していきたいと思いますのでよろしくお願致します。

さて、今年の世相を予測する漢字一文字を私なりに考えました。「動(動く)です。平成が終わりと令和となったこともありすが、座光寺では過去にない大変革期を迎え大きな動きが予測されます。1、リニア中央新幹線整備事業は、開業まであと八年となりました。現在、用地測量、補償物件調査に並行し

て用地取得の協議が始まっています。

課題となつている環境対策としての防音防炎フードについては、引き続き設置に向けてJ.R東海に強く要望していくつもりです。

2、関連道路整備事業の中で、スマートインターについては、昨年末に用地関係者の深いご理解をいただく中で用地の売買契約がなされました。2021年春の開通を目指し、工事が始まりま

す。

3、中央道からリニア駅への「座光寺上郷道路」及び国道153号線拡幅改良については、用地取得に向けての協議が進んでいます。また、このような大規模事業によって移転を余儀なくされる皆さんは、不安を抱えながら心配をしているところ。今後、代替地の斡旋や市から示された代替地の整備事業が開始される予定ですが、関係者に寄り添った親身な対応を事業主体に要望していき、移転を余儀なくされ

る皆さんが是非座光寺に残っていたけるよう願うところです。

4、恒川官衙遺跡整備事業は、用地取得を進める一方で整備工事がスタートします。手始めに「恒川清水」周辺が生まれ変わることになります。

5、旧飯田工業高校施設を活用した「産業振興と人材育成の拠点」通称「エス・バード」については、整備事業をほぼ終え、飯田産業センターなどが移転し業務を開始しました。すでに開講している航空機システム共同研究講座など、久しく灯りが消えていた施設が再び脚光を浴びることになりました。地域としてどのように活用できるのか、商工・農業関係者と協議を進めているところ。このように、地域を変える大規模事業が本格的に動き出し、新たなステップの大切な一年となるのではと予想しています。周りの動きに惑わされることなく、自治会としてしっかりと状況を見極め、誤りがない選択をしながら動いていきたいと考えています。

一方、少子高齢化が進み、人工減少が進んでいます。座

光寺で生まれ育った人たちが、一端は外に出てもやがて帰ってきて将来を担ってくれる「田舎へ還ろう戦略」を進めていきます。

座光寺のまちづくりは、リニア開通を見据えた第二次座光寺地域基本構想・基本計画に沿って、各種団体や住民の皆さんによって事業が推進されてきています。一歩ずつでも着実に計画が実現され、将来像である「あなたも私も暮らしやすい自然・歴史・文化・ものづくりが煌めく新舞台麻績の里座光寺」を目指していきます。そのためには、地域の皆さんが「自ら考え自ら行動する」ことを基本として、座光寺をより一層よい地域にするよう、それぞれができることから実践していただくことを願っています。

地域の良き環境づくりをめざして

環境衛生委員会 委員長 八丁地美知子



思わぬ展開で大役が与えら

れ、困惑状態にいます。三十四名の委員の皆さんと共に既に活動は始まっています。

環境衛生委員会には、総務部(学習・啓発事業)、衛生部(資源リサイクル・廃棄物処理)、環境部(環境保全対策)の三つの部があります。ごみの分別処理、リサイクルステーションの利用(座光寺地区独自のアルミ缶回収事業を含め)、各地区の支部長を主体に不法投棄パトロール作業と撤去作業に重点を置いています。

例年のことではありませんが、ごみゼロ運動、河川清掃、草刈り作業等は各地区の皆様方には大変お世話様になります。傷害保険に加入してはいますが、くれぐれも事故やけがが無い様にお願致します。

日常生活に一番定着している家庭ごみに関しては、今一度「ごみ分別ガイドブック」等で確認の上、分別をしっかりとして決められた収集日に、指定の集積所へお出しく

ださい。

日々の暮らしの中で、環境衛生に対する今後の課題も出て来るものと思います。疑問に思われる事やご意見を、ぜひ各地区の委員又は自治振興センターまでお知らせください。

環境保全及び快適な生活環境づくり実現の為に、地域住民お一人お一人が認識を新たにお持ち頂くことにより、良き環境が少しずつでも整っていく様に、一層のご協力の程をお願い申し上げます。

何分にも不慣れで解らないことばかりでございます。委員の皆さんはじめ、地域の皆さんのお力添えを頂きながら、二年間務めて参ります。

最後にもう一点お願いいたします。自治会では、今年度新たに地域の子どもさん達を対象に、ポイント制度の導入が検討されています。環境衛生委員会でも、環境教育・学習の一環として、ごみゼロ運動等に是非ご家庭の子どもさん等に参加を呼びかけてください。



今年度の活動方針

生活安全委員会
委員長 棚田 和美



令和元年という新年号とともに新たなメンバーで委員会が発足し、二年間生活安全委員を務めさせていただきます。

初めはただく大役に戸惑っていることばかりですが、役員・委員の皆様のお力を借りながら頑張りたいと思います。

今年度の活動では、昨年度と同様に「交通事故防止対策の充実」と「子どもを見守る体制の充実」を重点に活動していきたくと考えています。

平成三十年の交通事故統計（飯田警察署・飯伊交通安全協会出版から引用）より、座光寺地区内における交通事故発生件数は人身事故十九件、負傷者二十八名（飯田市内人身事故三百十件、負傷者三九七名）でした。近年ニュースで取り上げられるように高齢の方が加害者となる事故（飯田市

高齢者第一当事者人身事故七十四件、負傷者九十五名）や、子供が事故に巻き込まれることも目にする事が多いと思えます。交通事故のない社会を目指すために、市民一人一人が交通安全に関する意識を高められるよう各種関係団体と協力し啓発活動を行っていきたくと考えております。

飲酒運転は正常な判断ができないことから、事故により大切な家族が被害者や加害者になることが無いよう、飲酒運転撲滅のための啓発活動も行っていきたいと思えます。

また、リニア関連道路整備工事等説明会の参加を委員へ呼びかけ交通安全の視点から意見を述べたいと考えています。安全で安心して暮らせる地域社会の実現のため、高齢者への家庭訪問や、地域団体及び行政機関と協働し、防火・防犯に対する取り組みを実施する。また将来を担う子ども達を守る活動を小学校PTA、警察をはじめとする各団体との情報交換を密にするとともに地域住民の方へもご協力いただきながら見守り体制の充実を図ります。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

今年度の活動方針

健康福祉委員会
委員長 片桐 勇



令和元年の重点事業として福祉に関しては、

- 一、日常的な見守り支え合い活動の充実
- 二、婚活を支援する

健康推進に関しては、一、健康寿命を延ばす取り組みを進める

具体的には福祉に関しては、

- 住民支え合いマップの情報更新
- 在宅介護者ふれあい相談事業
- 移送サービスへの取り組み
- 敬老祝賀会の開催及び敬老の日祝賀訪問
- 福祉バザー
- 戦没者慰霊祭
- 男性のための料理教室の開催
- 一人暮らし高齢者への声かけ訪問

○日常的な声かけ運動の推進
健康推進に関しては、
○いきいき広場の運営協力
○各種検診の受診推進 等
今年度も昨年度と同様に取り組んで参ります。地域の皆様の積極的な参加をお願いします。

みんなが笑顔になる地域に

公民館委員会
委員長 塩澤 哲夫



日頃から公民館活動にご理解とご協力ご参加をいただき、ありがとうございます。

今年度は、「みんなが笑顔になる地域」を願って、活動していきたいと考えています。

それは、昨年までに公民館の企画に参加していただいた皆さんの時々の笑顔がとても素敵で印象的だったからです。そこで、皆さんに、外に出ることに「おっくう」にならず、楽しみを増やしていただけるような事業を考えて組んでいきたいと思えます。

さらに、座光寺の素晴らしい歴史や文化を学ぶこと、自慢できる座光寺の名物をみんなで作っていききたいこと、ふるさと体験や大人の体験に多くの皆さんに参加していただくこと、等々が具体的な願いです。

今年度もまた、それぞれの専門部や各実行委員会を中心に企画、また、いきいき大学や各種講座に、皆さんが気楽に楽しく参加し、交流と親睦を深めてもらえる企画を工夫して、地域の皆さんが笑顔になってもらえるようにしていきたいと思っています。よろしく願います。

ボランティアを楽しもう

麻績の里振興委員会
委員長 筒井 誠逸



麻績の里振興委員会の今年度重点目標は『会員増強による皆が楽しむ余裕の活動』です。本年三月二日の土曜日には、視察研修「半田運河と常滑焼の里散策」に会員二十一



名で行きました。常滑のボランティアの方は、私達より少し年配（七十五歳くらい？）の方が二班に分かれてそれぞれ一名ずつガイドしてくださいました。地元の知識が豊富な事はもちろんですが、その生き生きとした姿は私達にボランティアの楽しみ方を教えて下さっている様でした。『自ら考え、自ら行動する姿勢』そのものでした。又、地元の出身者ではない方もボランティア組織に多数所属しているシステムは、これからの参考にすべきだと感じました。

当委員会も高齢化が進み、身体的な問題から退会者が入会者をはるかに上回り、会員の減少によるマンパワーの減が顕著であります。活動内容の見直しと、事業の縮小を検

討する時期となりました。

地区の財産である桜の維持管理に協力して頂ける方、ボランティアに興味のある方、ぜひ一緒に活動してみませんか？活動のあとの反省会（飲み会）も色々な話題に花が咲き大変楽しい仲間が発見できます。

今年度最初の事業「麻績の里桜まつり」も晴天に恵まれ大盛況のうちに多くの来訪者をお茶席や子どもガイドでもてなしができました。

水辺の広場委員会の取り組みについて

水辺の広場委員会
委員長 大澤 義信



私達、水辺の広場委員会の活動は、座光寺地域土地利用計画にもある水辺の広場ゾーンの活用のあり方として、環境を保全し座光寺が持つ自然の場と理解し、その自然と触れ合い、地域住民の皆さんが楽しめる憩いの場所となる環境づくりを維持します。

本年度計画している主な事

業としては、地区の皆さんから寄贈頂いた鯉のぼり設置（四月末）環境整備事業の取り組みとして年三回の草刈りゴミ拾いを始めマレットゴルフ場周辺のアメシロ駆除の実施また、七月には親子で楽しめる川遊び「水辺の広場で遊ぼう！」を計画予定ですので大勢の皆さんの参加をお待ちしています。

今年も昨年と同じ活動になります。地区の皆様方の各事業への参加をよろしくお願い致します。今後の課題として、ホタルが年々減少気味と見受けられます（白山下など）生息地の環境保全（水路、土手草の管理）が必要と考えられます。皆様でホタルの増殖にご協力ください。



明るく住みよい地域にするために

ふるさと応援倶楽部
委員長 古井 武志



平成三十一年度の重点事業
一、夢を語る会

ふるさと座光寺をみんな良くするために日頃様々なグループで活動している方々が集まり、お酒を飲みながら楽しく語り合う会です。是非ご参加ください。

二、情報発信事業

「麻績の里座光寺便」の発行
座光寺の良いところをPRし、同時に普段自分達の気づかない地域の良さを確認したいものです。

三、交流事業の推進

都市住民や他地域との交流を通して、座光寺に住む自分達自身の毎日が、生き生きとしたものになるよう進めたいと思います。

また、先進地視察もしたいと思えます。

四、ふるさとパックスの販売
ふるさとを離れて暮らす方々

の注文に応じて地元産の「旬」の産物を詰め合わせて送る。
五、元気づくり支援事業の続き

昨年度、県の補助を受けて座光寺の姿を写真などの映像で記録しました。それらを用いる機会が学習用の教材にしたり、他へのPR用に利用するなど有効活用できるように編集しておきたいと考えています。

誇りと愛着を

持てる地域に

歴史に学び地域をたずねる会
会長 田口 博人



歴史に学び地域をたずねる会は、発足してから皆さまのご支援ご協力を頂きまして、今年度で節目の十年目を迎えることができました。

本年度の重点事業は、「二〇〇〇年浪漫の郷」づくりを柱として文化遺産活性化事業の推進に取り組めます。

○古老からの聞き取り調査の実施
調査報告の書物出版に向け、

蓄積された記録の活性化を令和三年度までに進める。

○地域に残された古写真等のデジタル化と映像記録の保存

○地域の遺産等の紹介パネル・パンフレット等の作成

○観光ボランティアガイドの組織づくり等
国・県・市指定遺跡の保存整備、利活用については、各種団体と共に進めて参ります。

座光寺の遺跡の価値・特色を学ぶ学習会も開催します。

また、恒川遺跡・高岡古墳群・石川除等の保存・整備計画等への意見具申も重点事業としていきます。

活動方針としては、
○地域の自然、歴史・文化の発掘、整備保存・利活用

○地域の自然等の調査研究、諸史料の収集

○史料館の管理運営、史料整備

を行っていきます。

座光寺地区は、豊かな自然に恵まれ貴重な歴史・文化遺産の宝庫です。それらは先人達が心を寄せ、守り残してくれたものです。多くの皆さんがそれらを学び、保護・保全・利活用を図り、住民の文化度の高揚、地域への誇りと

愛着を持てる地域にしていきたいと思えます。

座光寺の魅力アップ作戦

二〇〇〇年浪漫の郷委員会
会長 湯澤 英範



本年度の最大の行動目標は、座光寺の魅力発信するガイド組織の立ち上げである。

平成二十六年、恒川官衙遺跡が国史跡の指定を受けたことを機に、この宝物を如何に世間に知らしめて地域の魅力に繋げようとする心意気で産声を上げたのが当委員会である。

それ以来、試行錯誤を重ね様々な取組みを実施してきた。そして、遂に昨年度末の総会で、ガイド組織の設立が総意をもって決定された。

しかし、実際に設立となると意外に課題が想定され、周到な準備が必要。そこで、各界から地域づくりに造詣の深い方々に集まっていたいただき、知恵を出し合っって着実な第一歩を踏み出すこととした。

活動としては、郷土愛に満ち機動力のある組織を目指す

が、既存の特別委員会等の活動と重複する部分が想定されるだけに、互いの立場を尊重した活動の連携が肝要である。

具体的な事業展開は、インターネットなどによる情報発信を行って、数多い史跡等の探訪や豊かな自然環境を活かしたウォーキングや農業体験などで、癒しや感動観光を提

供することを目指す。

そして、究極には定住に繋がるようなことも夢見ている。

二〇〇〇年浪漫の郷づくりは、リニア時代を見据えた座光寺の最大の振興策であり、全員で取り組んでこそ意義があり、多くの方々の関心と積極的な参画を歓迎している。

景観を活かし体験と

交流の場

パノラマファーム大門
場長 長沼 豊



た。よろしくお願い致します。
私たちは、座光寺最上段地区の不耕作地を守り、絶景スポットを様々な体験のできる場所として整備し、都市との交流ができる様に残していけるよう活動しています。

近年は、パノラマファーム大門がスタートした時よりも耕作できない農地が三倍ほどに増えてきています。今後は農業振興会議と連携をして、この環境を壊さないような、ここに適した新たな栽培作物を探したり、渋谷区との交流から渋谷のりんご園企画等の検討を進めたりと、出来ることから取り組んでいきたいと思

います。また、りんご栽培の交流から始まった『絆シールドプロジェクト』も三年目に入ります。渋谷表参道とのシールドは商品化ができましたが、奈良市とは今年度のうちに商品化ができるように、二〇〇〇年浪漫の郷委員会とも連携して取り組んでい

きます。

今年度も会員一同、力を合わせて楽しんでいきたいと思

っています。



今年度活動方針

土地利用計画運営委員会

委員長 牧野 光彰



今年度活動方針としては、平成二十九年度より開始した第二次座光寺地域基本構想・基本計画に掲げる、「人と生活に優しい土地利用」の実現を目指します。今後のリニア関連事業の進展による地域の意見を実現するため、地域の特性を十分に踏まえた計画的かつ有効な土地利用を図るための二つの部会を立ち上げました。

駅周辺エリア検討部会においては、建築物の用途の制限、敷地規模の制限、建築物の高さの制限などのルールについて検討を実施します。

建築後退ルール検討部会においては、平成二十一年度策定の土地利用計画における壁面位置の制限、垣又は柵の構造の制限等の見直しについて検討しました。

リニア駅周辺エリア及び、

宮の前・唐沢地区の代替候補地については、地域の意見から住宅の高さ等も制限し、美しい景観と良好な環境を保全します。

また、農業と調和した地域を目指す移住エリア。環境悪化の危険性がある工場等は制限を行い、商工業の活用が可能な商工業エリア。住宅と商工業が混在する調和エリアの三つに、エリア分けが決定さ

今年度の活動について

日赤奉仕団

分団長 福田久美子



今年度、分団長を務めさせていただくことになりました。福田でございます。

日頃から日赤奉仕団活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

昨今、国内外で頻繁に起こる大地震、土砂災害、温暖化による異常気象などの自然災害：改めて防災体制の確立と一人一人の防災意識向上の大

れました。

二〇一九年度以降については、決定された土地利用計画に沿い、届出の審査やルールに沿わない案件について飯田市土地利用計画の推移を見ながら進めます。

座光寺スマートインターチェンジ周辺については、第二次基本構想・基本計画に則して検討を進めいきたいと思えます。

切さを感じています。

座光寺分団では、防災訓練や、消防団の春と秋の非常招集訓練の炊き出し訓練や、講師を招き救急法の勉強会を行っています。

また、夏祭り、運動会、文化祭等の自治会諸行事に参加し活動しています。地域の皆様に寄り添った活動を心がけてやっております。

これからもより一層地域に貢献できるよう活動していきたいと思っております。よろしくお願ひします。



今年度の活動について

座光寺消防団

分団長 木下 雅司



座光寺地区の皆様におかれましては、日頃より消防団活動にご理解、ご協力を頂きまして誠にありがとうございます。

今年度、消防団の重点目標として、「一年間地区内より火災を出さない」を目標にしています。今年に入り、すでに四十五件、今月だけでも十二件の火災が連日のように市内のいたる所で発生しています。おかげ様で、当地区においては皆様のご協力により、昨年五月から無火災が続いております。このまま一年間火災が発生しなければ、消防出初式にて無火災表彰を頂ける予定です。そのために、啓発活動、その他の訓練に励み、「地域の生命・財産を守る」をモットーに消防団活動に尽力していきます。今後とも、ご理解ご協力の程よろしくお願ひいたします。

自治振興センター 職員の異動

今年四月の市役所人事異動により、新しく一名の着任がありました。

〈転入〉

地域振興担当

今村 浩二



〈転出〉

戸籍担当

岩崎 俊之

(上郷自治振興センター)

2019年度 地区長名簿

宮の前	今牧 新治
唐沢	松澤 晃司
共和	麦島 克彦
下羽場	深尾 昌弘
中河原	市岡 和之
中羽場	棚田 好信
欠野	安里 陽子
河原	三村 道彦
高岡	牧内 辰夫
清水	原田 聡昭
恒川	細井 高弘
市場通り	鈴木 徹
北市場	竹村 直人
上野	井崎 英雄
上野新町	北原 勇
万才	米山 宗利
原	長沼 邦明
宮崎	宮崎 昌芳
大堤東	赤羽目文宏

自治会表彰

今回は、五名の皆さんが受賞されました。各方面でそれぞれ永年にわたり地域の発展に貢献していただいた功績に対し感謝状が贈られました。



表彰を受ける吉川節雄さん

吉川 節雄 様

地域自治会副会長を四年務められ、地域の自治活動に貢献されました。

福島 一榮 様

座光寺児童センター館長を八年務められ、児童の健全育成に尽力されました。

岩谷 剛徳 様

座光寺地区選出の飯田市長をポーツ推進委員を六年務められ、地域のスポーツ推進に貢献されました。

三村 正子 様

飯田中央図書館座光寺分館長を十八年務められ、読書の推進等を通じて地域の教養を高める活動に尽力されました。

福田 喜美 様

長年に亘り、飯伊交通安全協会副会長を務められ、飯伊地域の交通安全活動の普及・啓発に尽力されました。



2019年度 地域自治会予算

〈収入の部〉 (単位:円)

予算区分	金額	説明
1. 会費	17,100,000	個人会費、法人会費
2. 消防協力費	1,350,000	
3. 補助金	10,120,000	市県からの各種補助金
4. 負担金	285,000	会議参加者負担金、他
5. 繰入金	0	基金から繰り入れ
6. 繰越金	8,457,871	平成30年度繰越金
7. 雑入	37,129	利子、祝儀等
合計	37,350,000	

〈支出の部〉 (単位:円)

予算区分	金額	説明
1. 報酬	1,010,000	自治委員報酬
2. 諸手当	1,778,500	各種委員手当
3. 賃金	1,120,000	事務補助・庭木手入れ
4. 報償費	523,400	地区役員報酬
5. 旅費	3,000,000	地域外会議参加費費用弁償、研修旅費、他
6. 交際費	350,000	祝儀、香典等
7. 需用費	1,120,000	消耗品、会議費、他
8. 役務費	433,000	保険料、手数料、他
9. 使用料・賃借料	100,000	借地料他
10. 原材料	50,000	生コンほか
11. 地域振興費	10,399,000	ふるさと座光寺会、他
12. 各委員会費	8,004,000	環境衛生、生活安全、健康福祉、公民館
13. 施設整備・管理費	1,940,000	防災倉庫、小会議室エアコン、麻績会館、他
14. 備品購入費	250,000	事務機器等
15. 負担金、助成金及び交付金	4,260,000	自主防災会、各区連絡会、消防団、他
16. 積立金	30,000	バザー売上金積立
17. 予備費	2,982,100	
合計	37,350,000	

平成30年度 地域自治会決算

〈収入の部〉 (単位:円)

予算区分	金額	説明
1. 会費	17,241,100	個人会費、法人会費
2. 消防協力費	1,351,000	
3. 補助金	11,355,744	市県からの各種補助金
4. 負担金	390,000	会議参加者負担金
5. 繰入金	0	
6. 繰越金	7,084,117	平成29年度繰越金
7. 雑入	60,815	預金利子、自販機電気料相当分、他
合計	37,482,776	

〈支出の部〉 (単位:円)

予算区分	金額	説明
1. 報酬	1,000,000	自治委員報酬
2. 諸手当	1,711,183	各種委員手当
3. 賃金	923,113	事務補助賃金・庭木手入れ
4. 報償費	456,000	地区役員報酬
5. 旅費	2,369,964	地域外会議参加費費用弁償、研修旅費、他
6. 交際費	132,500	祝儀、香典等
7. 需用費	1,110,328	消耗品、会議費、他
8. 役務費	373,296	保険料、手数料、他
9. 使用料・賃借料	5,400	借地料他
10. 原材料	0	
11. 地域振興費	8,774,004	ふるさと座光寺会、他
12. 各委員会費	8,151,000	環境衛生、生活安全、健康福祉、公民館
13. 施設整備・管理費	461,224	麻績会館、防災倉庫、他
14. 備品購入費	36,180	事務機器等
15. 負担金、助成金及び交付金	3,481,913	自主防災会、各区連絡会、消防団、他
16. 積立金	38,800	バザー売上金積立
17. 予備費	0	
合計	29,024,905	

座光寺の自然 シリーズ⑬ シロツメクサ (クローバー)

クローバーはシロツメクサとも呼ばれ、子供のころから身近にある雑草です。花を集めて花冠、首飾りや腕時計のような飾りをつくったことがあるものです。また四葉のクローバーを探したこともあるのではないのでしょうか。



シロツメクサ群落と四葉のクローバー

どんなところにある?

クローバーの生えているところはいつも空き地や道路脇です。草むらの中にはありませんし、もちろん森にもあり

ません。そのわけは成長点の位置にあります。クローバーの茎は横に這い、成長点はいつも地表にあります。この形は光獲得競争では茎を立てる他の草にはかなわないのです。その代り茎が折れないので踏まれるのには強い抵抗力があります。これはシバやオオバコも同じです。

小学校の校庭にて

広い空地でクローバーの生えている場所を探してみると、自然の中のクローバーの生活スタイルや位置がわかります。写真は座光寺小学校の校



座光寺小学校校庭；中央から外に向かって生える植物の変化がみられる。この変化は成長点の位置に置き換えることができる

庭。注意深く見ると、中央部から周囲にむかって草が増えていくときに二〜三番手にクローバーが出てきます。中心部の土が出ている裸地から踏圧に強い種類から弱い種類に変化してきます。スズメノカタビラやシバ、そしてクローバー、オオバコ、ヤハズソウなど。フエンスに近いところにハルジョンやスズメノエンドウなど茎が立つ種類があります。踏圧への抵抗力は茎の高さ、または成長点(茎の先端で細胞分裂をしているところ)の位置で見ることができるとです。

庭のシバ地にとつてクローバーは大敵。この草が入ったらこまめに抜き去るしかありません。同じ地表を這う植物でありながら、葉を上を広げるクローバーが一枚上手です。ところがしばしば踏まれるところでは葉を広げるのが弱点。細い葉の芝が有利になります。

根粒バクテリア

クローバーの強さはもう一つ。根に根粒菌を同棲させ、空気中の窒素を取り入れるのです。これはダイズなどマメ科の特徴。貧栄養の土地でも増える力になっています。たねを散布する力が弱いのに、



根と根粒；根にある球形のものが根粒(矢印)で中に窒素固定のバクテリアが共生している

各地にたくさんあるのはこの味方があるからかも知れません。

意外にも帰化植物

身近にあつて子供のころから親しんだ草ですから日本由来と思われがちですが、実はヨーロッパ原産の帰化植物です。「ツメクサ」の名はオランダからギヤマン(ガラス)製品を運ぶときに壊れないようにこの草を「詰めた」ことから。しかも四葉のクローバーの謂われまで。かの地では見つけた者は幸運が訪れると信じられていました。このように日本のものだと思っていた植物が実は、外国から来たという植物がオオイヌノフグリ、ハコベなど他にいくつもありま

す。(伊那谷自然友の会 小林正明)

編集後記

元号が令和となり最初の広報座光寺が完成しました。広報座光寺は、昭和二十二年に「村の新聞」という公民館報が発行されて以来、七十年以上に渡り休むことなく発行を続けています。

この中から平成最初の広報誌、館報座光寺二三四号を見つみましよう。

ここで語られる座光寺の将来ビジョンには壮大な夢が描かれています。自然動物園や流水プール、林間ボブスレーなど、バブル終盤ということを考慮してもあまりにも壮大なビジョンです。

しかし、この中には、舞台校舎の復元、竹田人形館の整備など夢が実現したもの、恒川官衙遺跡の整備や座光寺パークキングの活用など今まさに実現しつつあるものが多いことに驚きます。

「令和」は、明日への希望と共に、一人ひとりが大きな花を咲かせるという願いが込められているそうです。

改元に合わせるように大変革を迎える座光寺。地域とそこに住む皆さんの大きな夢が実現する。そんな時代となるように願っております。(広報篠田)

